

【JP 地域共存ビジネス賞 募集要項】

「地域に根ざした環境保全事業」および「地域既存の生物との共存を意識した事業」の2つの要素を併せ持ち、「地域共存」を打ち出すことにより、商品・サービスに付加価値をつけて地域に貢献している企業・団体を対象とします。

受賞事業に関しては、今後の事業拡大のためにJPグループのチャネルを活用することも視野に入れ支援します。

<2008 年度「JP 地域共存ビジネス賞」受賞モデル>

受賞企業

株式会社ピースウェイブ（代表取締役 加藤 憲一氏）  
東京都北区豊島 8-33-6

受賞テーマ

バイオマスが開く資源循環型ゼロ・エミッションの農業と地域の未来

ビジネスモデル概要

焼酎の製造過程で発生する焼酎粕は、九州で年間 100 万トン（鹿児島県で 50 万トン）もあります。

焼酎粕は水分を約 95%含んでいるため、適切な処理法が無く、大半を海洋投棄してきました。しかし、環境保全の観点から、2007 年 4 月に海洋投棄が原則禁止となり、その有効利用の開発が急務となっていました。

その状況下、株式会社ピースウェイブは焼酎粕を原料とした「生分解樹脂」を合成することに成功し、これまで石油を原料としていた農業用マルチフィルムシート（ ）に替わる生分解性マルチフィルムシート「イモ太郎」を開発しました。

この「イモ太郎」は、機能的には石油由来のマルチフィルムシートと同様ですが、使用后、微生物により水とCO<sub>2</sub>に分解され、自然界（土）に吸収されるため、回収・廃棄の手間もありません。

「イモ太郎」の開発により、地域に密着した資源循環モデルを確立し、農家にも地球にも優しい農業に寄与しています。

雑草の繁茂を押さえたり、温度調節を行ったりするために、畑の表面を紙やプラスチックフィルム等で覆うシート

【資源循環モデル】

**サツマイモ農家** サツマイモ

**焼酎メーカー** 焼酎粕（カス）

**カス処理工場** 熱可塑性組織物（樹脂ペレット）

**ピースウェイブ**  
農業用生分解性マルチフィルム「イモ太郎」

**サツマイモ農家** サツマイモ

